

栃木の未来へ新たな挑戦

初心

「令和4年を迎え！」

栃木県知事 福田富一

2022年早春号

令和4年2月発行
年2回刊
題字/福田富一 書

<発行所>

福田富一
暮しと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
http://www.tomikazu.com



全国知事会オンライン会議で発言する福田知事=11月21日、県庁

多くの皆様方のお力添えにより、お陰様で元気に知事職を勤めることが出来ます事に感謝申し上げます。

《18回目の予算編成を終えて》
「いちご一会とちぎ開化予算」と名付けた当初予算は、総合スポーツゾーン整備・開催準備を経て、いよいよ「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」本番を迎え、県民総参加で輝き（開花）、レガシーをスポーツコミッションやグリーン社会（実）につなげていくこと等を目標に編成したものです。

「つぎつぎ花が咲くで賞」と自己評価致しました。18回目の編成となりましたが、今回ほど内容が大きく変化した予算は記憶にありません。それはポストコロナを見据えながら、「新たな日常」の視点を取り入れた積極的な展開が必要になったことによるものです。

具体的には、
(一)地域・年齢・障害の有無による格差をなくし、経済発展と地域課題の解決を図ることが出来る社会（Society 5.0）の実現に向けて、デジタル技術の活用や人材育成を積極的に推進することが求められていること。
(二)2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、オール栃木体制による脱炭素化に取り組むとともに、気候変動の影響による自然災害の頻発・激甚化が懸念される中、

県としての適応策を推進することが必要なこと。
(三)冬季大会を無観客ながら無事開催できたことを糧に、10月にせまった第77回「いちご一会とちぎ国体」・第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の成功に向け、各種取り組みを着実に進めるとともに、有形・無形のレガシーを継承していくことが重要であること等であります。

《新型コロナウイルス感染症の克服》
本県で陽性者が確認されたのは令和2年2月22日でした。コロナとの闘いは3年目を迎えたところです。
新年度も引き続き、診療・検査体制や病床・療養施設の確保、地域医療提供体制の整備・充実に努め、感染拡大防止と社会経済活動の両立を進めて参ります。

《この1年間を振り返って》
新型コロナウイルス感染症へ全力で取り組みながら、本県の未来への種もすっかり蒔いた一年でした。
(一)外部人材を登用し、「とちぎビジネスAIセンター」や「とちぎデジタルハブ」を開設し、中小企業支援や地域課題解決への仕組みの構築等、デジタル化の推進を図りました。
(二)積極的なとちぎ型大使館外交の実施により、県産品・県産農産物の輸出拡大及び外国人誘客に向け、とちぎの魅力・実力のPRを行いました。

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《昨日の我に今日は勝負べし》
徳川家武芸指南役、柳生家の家訓です。
コロナ禍では人が集まってもいけない、大声を出してはいけない、大人気で飲食してはいけない等制限があり、生きた情報や幅広い切磋琢磨の機会が得にくくなっています。「山高きが故に貴からず」です。経験に知識を重ねるなど研鑽に努め、進歩進化を遂げられるよう、そして本年も引き続き職を全うできるように日々全力で取り組んで参ります。

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

11月23日には、ファム・ミン・チンベトナム首相の来県にちなりました。（平成15年12月のモンゴル国大統領以来18年ぶり）
(三)カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）を2050年までに実現することを宣言。そのためのカーボンニュートラル実現会議を設置。さらに実現に向けたロードマップを策定作業中です。

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

《公選法違反について》
「やり直しはできないが、出直しはいつでもできる」という教えがあります。叶わぬことではありますがやり直したい思いは今も強くあります。さまざまお騒がせをし、お詫び申し上げます。ご心配賜りましたこと御礼も申し上げます。関係者と手を取り合っ

コロナ禍のなかで

ベトナムのファム・ミン・チン首相(左)に
益子焼の角皿を贈る福田知事



貿易など交流促進へ覚書

ベトナム首相が来県 福田知事と会談

ベトナムのファム・ミン・チン首相が11月23日栃木県を訪れ、福田知事と貿易や投資などに関する意見交換を行った。また、首都ハノイ近郊のビンフック省と県との間で経済交流の促進を目指す覚書に署名した。県公館で行われた会談で福田知事は、一昨年に観光PRのため同国を訪問した経緯や、県内企業19社の進出など経済的な結びつきにふれ「さまざまな分野でさらに連携を深めたい」とアピールした。

「いちご一会」夢を感動へ

とちぎ冬季国体開幕

「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体「冬季大会スケート・アイスホッケー競技会」は20

冬季国体を総括

本県に「まん延防止等重点措置」(1月27日)が適用される中での開催となった大会は、参加者全員への事前検査や体調管理の義務化など対策を徹底して行われた。福田知事は2月1日、「会場で感染が確認されるケースは免れた。対策が奏功した」と振り返り「10月の本大会は規模が異なりハードルも高い冬季大会の成果を生かしたい」と述べた。

大阪でトップセールス

毎日21世紀フォーラム

福田知事は11月15日、大阪市内で開かれた「毎日21世紀フォーラム」で講演。本県の優れた立地環境や未来技術を活用した産業のアップグレード、大阪で2年ぶりとなるトップセールスを展開した。同フォーラムで東日本の知事が講師を務めるのは初めて。「新しい日常における地方自治―未来につながる栃木の挑戦」と題して講演し、大阪府内の企業や団体から約150人が参加し熱心に耳を傾けた。福田知事は本県のセールスポイントとして、豊かな自然環境、優れた歴史文化、食のオアシス、多種多様な産業集積地の4点を紹介した。特に首都圏への好アクセス、自然災害が少ないことなどを挙げ「圏央道開通で関西圏との人、物の流れが活発化している。産業用地としてぜひ注目してほしい」と呼び掛けた。スマート農業や自動運転実証実験、AIセンターなど未来技術を活用した取り組みも強調。さらに、タレントやSNSを活用し、国内外で魅力発信を強化している現状を紹介し「人口減少は続くが、少しでも本県に来てもらいたい」と移住・定住促進や観光誘客を期待した。



毎日21世紀フォーラムで講演する福田知事

高藤直寿選手に県民栄誉賞

東京オリンピックの柔道男子60kg級で金メダルを獲得した下野市出身の高藤直寿選手(28)にパーク24に県民栄誉賞を授与された高藤直寿選手



10月16日、福田知事から県民栄誉賞が授与された。高藤選手は「素直に嬉しい。東京五輪は新型コロナウイルス禍で開催されたが、たくさんの方の応援のおかげで苦しい状況でも踏ん張って勝つことができた」と挨拶。福田知事は「県民に明るい希望を与え、元気な栃木づくりを推進する大きな力となった」とたたえた。県民栄誉賞は、リオデジャネイロ五輪の競泳男子400m個人メドレーで金メダルを獲得した萩野公介選手に続き、8人目となる。

記憶と記録に残る1年に



「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに第77回国民体育大会「いちご一会」とちぎ国体「冬季大会スケート・アイスホッケー競技会」は2022年1月24日、日光市今市文化会館で開始式を行い開幕した。新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が県内でも拡大する中、30日までの7日間にわたり原則無観客で水上の熱戦を繰り広げる。本県選手団73人を含む42都道府県から1700人を超える選手団が参加し、同市内4会場でスピードスケート、ショートトラック、フィギュアスケート、アイスホッケーを行う。福田知事が「選手の皆さまには感染防止対策にご協力をいただきつつ、これまでの努力が結実することを願っている」と開会を宣言した(上記写真)。

冬季大会終了時の本県の天皇杯得点(男女総合成績)は7位、皇后杯得点(女子総合成績)は10位。福田知事は「天皇杯、皇后杯獲得に向けて弾みを付けることができた」と選手をたたえた。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていたきました。

豚熱対策で支援を要望

全国知事会議

政府主催の全国知事会議が11月26日、首相官邸で開かれ、福田知事は、県内で国内最大規模の殺処分が発生した豚熱(CSF)対策について



対面で開催された全国知事会議での福田知事(中央)

「殺処分などの防疫措置に多くの人員や経費を要し、自治体の負担は過重だ」と指摘。国の専門的知見を活用した防疫対策の強化や、発生規模に応じた自治体への財政的支援を要望した。議事の最終盤、滑り込みで発言権を求め「感染防止対策をしつかり図って準備をしているので選手、役員の方々の積極的な派遣をお願いする」と「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」のPRをした。

家畜伝染病対策強化を

関東地方知事会

本県を含む10都県で構成する関東地方知事会は10月20日、定例会議をオンラインで開き、国の施策や予算に関する提案・要望12項目などを決



オンライン形式の関東地方知事会議で発言する福田知事

めた。福田知事は、豚熱(CSF)の予防的ワクチンの接種適齢期を明確にすることや、知事認定獣医師や家畜防疫員の監督下で養豚農家が接種できるようにする制度改正を求めた。防疫作業は自治体の負担が膨大になるとして「激甚災害と同程度の財政措置を求めたい」と訴えた。



7月5日、東京五輪で県がホストタウンになっているハンガリーの五輪委員会クルチャール・クリスチャン会長とオンライン会談をし、直前キャンプと大会の成功を誓い合った福田知事(県庁)

東奔西走の日々

- ◇7月5日 とちぎ元氣フォーラム in 矢板東高付属中／3年生と意見交換。
- ◇7月9日 佐藤市長らとオリオン通りやJR宇都宮駅周辺で感染拡大防止を呼び掛ける街頭活動を行う。
- ◇7月11日 全国知事会オンライン会議／ワクチン不足解消要求。
- ◇7月16日 栃木・小山・両毛地区ブロック別市町村長会議／感染早期公表を要望。
- ◇8月1日 全国知事会オンライン会議／県境をまたぐ移動の自粛を要請。
- ◇8月5日 那須・南那須地区ブロック別市町村長会議／豚熱対策などで意見交換。
- ◇8月8日～31日までまん延防止等重点措置適用／23市町で飲食店に酒類の提供自粛を要請。
- ◇8月16日 24日に開幕する東京パラリンピックの「県採火・出立式」／共生社会の実現と選手の活躍を願う。
- ◇8月20日～9月12日まで緊急事態宣言に本県を追加／午後8時以降の不言に本県を追加／午後8時以降の不言に本県を追加
- ◇9月9日 緊急事態宣言を30日まで延長／「もう一踏ん張り協力を」。
- ◇9月11日 全国知事会オンライン会議／行動制限緩和で「楽観」懸念。
- ◇10月2日 全国知事会オンライン会議／「第6波」への準備徹底を要請。
- ◇10月9日 都道府県魅力度ランキング41位／「調査結果に関わらず地域資源の磨き上げや情報発信に取り組んでブランド力向上を図る」と知事。
- ◇10月19日 オンラインで「とちぎ企業立地・魅力発信セミナー」開催／本県の優れた立地環境や優遇制度をアピール。
- ◇11月13日 とちぎ元氣フォーラム in 塩谷／指定廃棄物処分場で意見交換。
- ◇11月21日 全国知事会オンライン会議／交差接種の安全性の周知を強化するよう求める。
- ◇11月27日 とちぎ元氣フォーラム in 那須塩原／国体などで意見交換。
- ◇12月10日 年末年始防犯呼び掛け／知事ら繁華街をパトロール。

「県民に希望や活力を与えてくれた」

県スポーツ功労賞を授与



東京五輪の飛び込み女子シンクロ板飛び込みで5位入賞した宇都宮市出身の榎本遼香選手(25)＝県スポーツ協会(左から3人目)、東京パラリンピックの車いすバスケットボール男子で銀メダルの小山市出身高松義伸選手＝日本体育大学(左端)、左から2人目は高藤直寿選手(10/16)



6月にハンガリーのブダペストで行われた柔道の世界選手権女子78kg超級で優勝した朝比奈沙羅選手(24)＝ビックツリー(8/23)



東京五輪競泳男子400mメドレーリレーで6位入賞した真岡市出身の水沼尚輝選手(24)＝新潟医療福祉大職員(9/22)



リオデジャネイロ五輪金メダリストで、東京五輪競泳男子200m個人メドレーで6位入賞した小山市出身の萩野公介さん(27)(11/16)



東京五輪スポーツライミング男子複合で4位入賞した宇都宮市出身の榎崎智亜選手(25)＝TEAMAu(10/27)



東京パラリンピック車いすテニス女子ダブルスで銅メダルの栃木市出身の大谷桃子選手(26)＝かんぼ生命(11/11)



東京パラリンピック車いすテニス男子ダブルスで4位入賞した那須塩原市出身の真田卓選手(36)＝凸版印刷(11/22)

大使館訪問し本県をPR

「とちぎ型大使館外交」始動



駐日タイ大使館を訪問し、大使(右手前)にトップセールスを行う福田知事(左手前) 11月4日午後

福田知事は2020年の知事選で公約に掲げた「とちぎ型大使館外交」の一環で10月25日、シンガポールとベトナム大使館を訪問し県の魅力をトップセールスした。

11月4日にはタイ大使館を訪問し、シン・トン・ラーピセートパン大使と約1時間半にわたり意見交換した。福田知事は「とちぎ和牛」を土産として持参し、本県の概要について説明。イチゴやナシ、地酒などのほか、観光もPRした。大使からは「さまざまな分野で栃木県との協力関係を前進させたい」との話があった。

「日本をリードする県に」

福田富一知事5期目当選

2020年11月15日投票の知事選で41万6628票を獲得し県政初の5選を果たした福田知事(下段写真)は、「レガシー(遺産)をどう残せるか責任の重さを感じている。豊かな自然や堅実な県民性といった栃木の強みを生かし、日本をリードする県を目指す」「感染拡大防止と社会経済活動の両立、台風19号被



「公約着々と実行へ」

5期目就任1年会見



催を機に「大勢の栃木ファンを作りたい」と意欲を述べた。1年間の成果としては、企業の人工知能(AI)活用を支援する拠点の設置▽小中・県立学校に1人1台のタブレット端末配布▽県北児童相談所の開設▽農業大学校「いちご学科」創設などを示した。

一方、重要な地場産業の一つである観光振興については、「想定外の感染第5波により、誘客をまったく進められなかったのが心残りだ」と振り返り、「来年は取り戻せるようにしたい。昨日、ベトナム首相をお迎えできたことは、明るい展望につながるだろう」と期待を語った。

詳しくは、福田とみかず後援会総連合会ホームページ【<https://www.tomikazu.com/>】をご覧ください。

「福田家の茶の間」

◇一昨年の知事選での公選法違反では大変お騒がせをし、多くの皆様にご迷惑をお掛けしましたこと改めてお詫び申し上げます。

昨年5月に二男に公民権停止3年の略式命令が出されました。過去に同様の事件で裁判により期間が1年に短縮された際3万人余の嘆願書が提出されたとの報道等もあり、二男後援会も寛大な処分を求め嘆願書の署名活動を行うことになり、私たちも協力しました。



尚、嘆願書をお願いする際にも「署名に圧力と疑問を感じる」との情報提供が新聞社にあったことを知りました。重ねてお詫び申し上げます。◇11月3日、夫と娘と3人で男体山へ登りました。この時期の登山は初めてで寒さを心配しましたが、温かく穏やかな天気で6合目に向かう途中で富士山を見ることができました。頂上に着いた時には(今年も登れたと)ほっとしました。草木に霧氷がついているのを初めて見ました。(写真は山頂で、後ろは太郎山) 帰りには日光地区の後援会長のお宅で奥様の手料理をごちそうになり、心と身体を休ませて頂きました。いつも変わらぬお二人のご厚意に感謝しております。

暮れには東京に住んでいる長男一家が一昨年の8月に生まれた孫を連れて2年ぶりに帰ってきました。二男一家と長女とまー君(黒バグ3歳)も揃って家族全員元気に新年を迎えることが出来ました。一日も早いコロナの終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今年の漢字は「糾(あざなう)」



今年を表す漢字として「糾(あざなう)」を挙げた福田知事

福田知事は12月24日の記者会見で今年を表す漢字1文字に「糾(あざなう)」を挙げた。理由は、良い事と悪いことがより合わせた縄のように交互に起こることわざ「禍福は『糾(あざな)』える縄のごとし」からとつたと説明。この1年について、「禍」

には足利市の山林火災、新型コロナウイルス感染症の拡大鳥インフルエンザや豚熱(CSF)の発生などを挙げ、「福」には東京オリピック・パラリンピックで日本勢初の金メダルを獲得した下野市出身の柔道の高藤直寿選手らの活躍、「都道府県魅力度ランキング」の最下位脱出などを挙げた。

5期目の就任からまもなく丸1年を迎える福田知事は11月24日、県庁記者クラブで記者会見を開き、昨年の知事選で掲げた公約の進捗状況を「新規75項目の3分の1以上が緒に就いた。着々と進んでいる」と自己評価した。2年目の重点分野として「コロナ後」を見据えた観光振興などを挙げたほか、来年の国体開

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、後援会行事はすべて中止となり、2020年7月発行の『初心盛夏号』以来一年半ぶりの発行となりました。一昨年の11月には知事選挙が施行され福田知事が5期目当選を果たせました。後援会活動へのご支援に感謝申

上げます。コロナ禍での知事の県政への取り組みや日々の出来事などを纏めました。どうぞ、「一読下さい。」

◇福田富一後援会総連合会事務所
◇福田富一暮らしと政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110